◇MUZ-253158-0000-20260915◇

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2028年３月15日まで（2018年３月５日設定）	
運用方針	マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド受益証券、マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券および豪州ＲＥＩＴマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの債券、株式および不動産投資信託証券等に投資を行います。なお、豪ドル預金等を活用することがあります。 債券、株式および不動産投資信託証券への資産配分比率は原則として40：40：20を維持することを基本とします。なお、資産配分比率は投資環境等に応じて見直すことがあります。 投資環境の大幅な悪化が予想される場合には、株式および不動産投資信託証券の実質組入比率を引き下げる一方、豪ドル預金等の組入比率を引き上げ、投資リスクの抑制を図ります。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 マザーファンドの運用にあたっては、マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドおよびマッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンドはマッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに、豪州ＲＥＩＴマザーファンドはノムラ・インベストメント・マネジメント・アドバイザーズに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーファンド	マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド受益証券、マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド受益証券および豪州ＲＥＩＴマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
	マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
	豪州ＲＥＩＴマザーファンド	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	豪州ＲＥＩＴマザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、配当等収益の水準を考慮して分配します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

オーストラリア好利回り３資産バランス（年２回決算型）

愛称：実りの大地

第17期（決算日：2026年９月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

MUFG
三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目９番１号
ホームページ　https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル　０１２０－１５１０３４
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～１月３日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。
Macquarie Bank Limited（以下「MBL」といいます）を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社は何れも1959年銀行法（オーストラリア連邦）上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

本資料の表記にあたって

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率						
	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円
13期(2024年９月17日)	13,952	185	3.1	37.2	－	36.8	△0.2	19.5	8,641
14期(2025年３月17日)	13,587	170	△ 1.4	37.1	－	37.6	△0.3	19.3	8,112
15期(2025年９月16日)	15,623	210	16.5	37.6	－	37.4	0.2	19.8	9,127
16期(2026年３月16日)	16,617	230	7.8	37.4	－	36.4	1.4	18.6	9,387
17期(2026年９月15日)	16,546	230	1.0	37.6	－	37.8	△0.3	18.9	9,110

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率					
(期首)	円	%	%	%	%	%	%
2026年３月16日	16,617	－	37.4	－	36.4	1.4	18.6
３月末	16,111	△3.0	38.0	－	35.3	2.1	18.9
４月末	17,229	3.7	37.4	－	37.7	0.1	19.3
５月末	17,438	4.9	37.9	－	37.5	－	19.2
６月末	17,468	5.1	37.9	－	37.1	－	19.1
７月末	17,616	6.0	38.7	－	37.2	0.1	19.2
８月末	17,689	6.5	38.1	－	37.5	－	18.9
(期末)							
2026年９月15日	16,776	1.0	37.6	－	37.8	△0.3	18.9

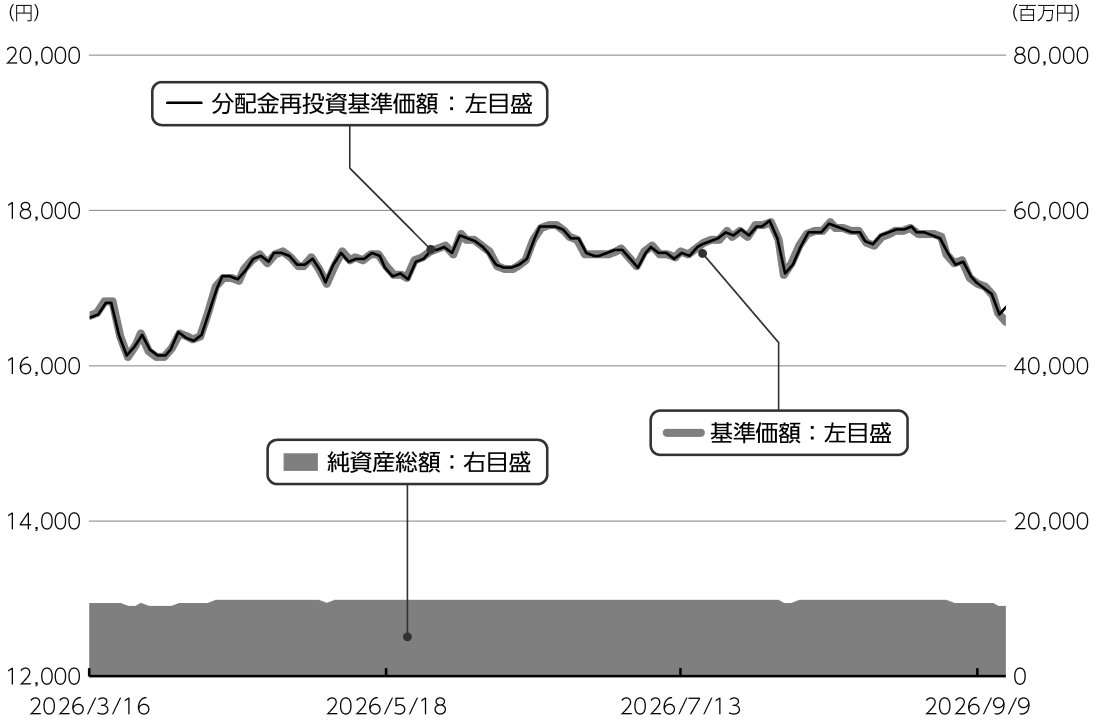
(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第17期：2026年３月17日～2026年９月15日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第１７期首	16,617円
第１７期末	16,546円
既払分配金	230円
騰　落　率	1.0%

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ1.0％（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

オーストラリアの株式市況が上昇したことなどがプラス要因となりました。

組入ファンド	騰落率	組入比率（対純資産総額）
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	0.4%	39.2%
豪州ＲＥＩＴマザーファンド	−2.2%	19.1%
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	4.8%	38.7%

第17期：2026年３月17日～2026年９月15日

投資環境について

▶株式市況

オーストラリアの株式市況は上昇しました。

原油価格上昇に伴うインフレ懸念等を背景にオーストラリアの金利が上昇したこと等がマイナス材料となり下落する局面もありましたが、中東情勢の緊張緩和への期待が高まった局面等で上昇し、期間を通じてみるとオーストラリアの株式市況は上昇しました。

▶債券市況

オーストラリアの社債市況は上昇しました。

2026年７月の消費者物価指数（ＣＰＩ）が市場予想を上回ったことを受け、オーストラリア準備銀行（ＲＢＡ）による追加利上げ観測が広がり、オーストラリアの金利が上昇したこと等がマイナスに影響したものの、金利収入の獲得等がプラスに寄与し、期間を通じてみるとオーストラリア社債市況は上昇しました。

▶ＲＥＩＴ市況

オーストラリアのＲＥＩＴ市況は下落しました。

期間の初めから2026年６月末にかけては、中東情勢への過度な警戒感が和らいだことや、オーストラリアの金利が低下したこと等がプラス材料となり、上昇しました。その後は、中東情勢の緊張緩和への期待が高まったこと等がプラス材料となり上昇する局面もありましたが、米国・イラン間の軍事的緊張の高まりを背景に原油価格が上昇し、インフレ懸念が再燃したこと等を背景に先進国の金利が上昇する中、オーストラリアの金利が上昇したこと等がマイナス材料となり、下落しました。結果、期間を通じてみるとオーストラリアのＲＥＩＴ市況は下落しました。

▶為替市況

豪ドルは、期間を通しては対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ オーストラリア好利回り３資産バランス（年２回決算型）

債券、株式およびリートに対する資産配分比率は、原則として、40：40：20の基本資産配分比率を維持しました。
実質組入外貨建資産については、為替ヘッジは行いませんでした。

▶ マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド

銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。

▶ マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

オーストラリアの企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。
豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。
また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。
デュレーションや債券種別配分については、投資環境や見通しに応じて適宜調整等を行いました。決算日直近の2026年８月末時点において、デュレーションについては、市場平均に対して概ね中立の水準とし、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を市場平均に対して多めの配分としました。

▶ 豪州ＲＥＩＴマザーファンド

ＲＥＩＴへの投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行いました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　目	第17期 2026年３月17日～2026年９月15日
当期分配金（対基準価額比率）	**230**（1.371％）
当期の収益	229
当期の収益以外	0
翌期繰越分配対象額	6,545

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶オーストラリア好利回り３資産バランス（年２回決算型）

オーストラリアの債券、株式およびリートへ実質的な投資を行います。

債券、株式およびリートへの資産配分比率は、原則として、40：40：20を維持することを基本としますが、今後も、バリュエーションや企業業績等の定量判断及び定性判断に基づき、柔軟に株式・リートの実質組入比率や、預金等の組入比率を調整し、投資リスクの抑制をはかる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

▶マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド

引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。

▶マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

スプレッド（国債との利回り格差）は現在、長期的な最低水準付近にあり、リスク回避姿勢が再び強まった場合に備える余地がバリュエーション面で限られています。こうした環境下では、スプレッドのボラティリティ（変動性）が再び高まる可能性があり、想定される振れ幅も通常より大きくなっています。運用チームでは現在のバリュエーションを考慮すると、クーポン収益を通じた安定的なインカムの確保を重視するとともに、元本保全を優先することが適切であると考えています。一方で、投資機会については慎重に選別する方針です。

債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を市場平均に対して多めの配分とする方針です。ファンドのデュレーション（平均回収期間や金利感応度）については、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

▶豪州ＲＥＩＴマザーファンド

不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

2026年３月17日～2026年９月15日

１万口当たりの費用明細

項目	当期 金額（円）	当期 比率（%）	項目の概要
(a)信託報酬	143	0.827	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（投信会社）	(82)	(0.474)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(57)	(0.331)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	3	0.019	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(1)	(0.007)	
(投資信託証券)	(2)	(0.012)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c)その他費用	3	0.015	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(1)	(0.007)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	149	0.861	

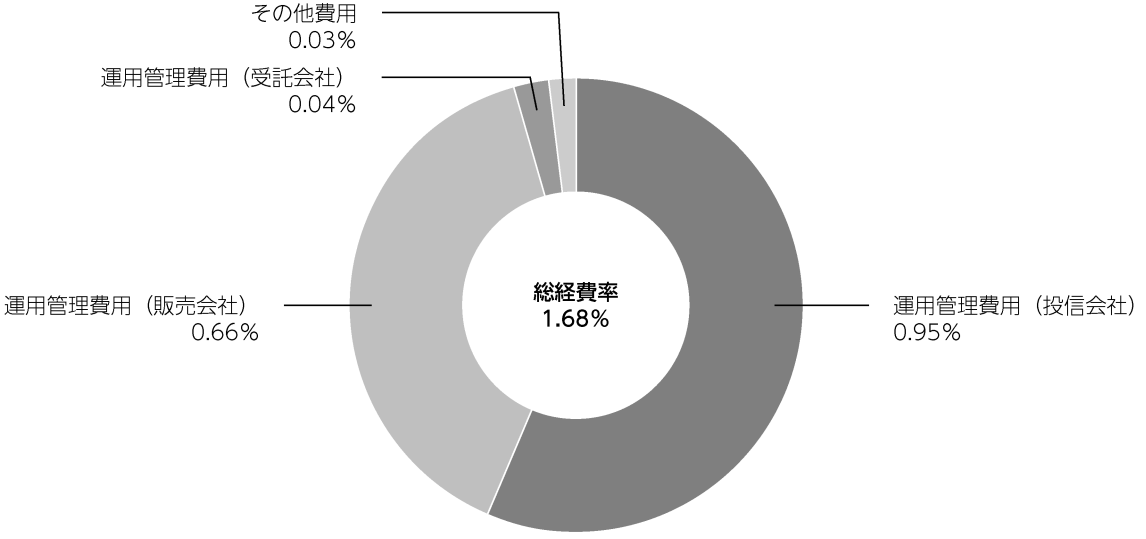
期中の平均基準価額は、17,314円です。

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.68%**です。



（注）費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2026年３月17日～2026年９月15日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	109,841	251,610	161,093	370,460
豪州ＲＥＩＴマザーファンド	93,033	232,570	94,879	247,760
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	64,080	189,750	169,924	511,490

○株式売買比率

（2026年３月17日～2026年９月15日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,792,817千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,664,118千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.48

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2026年３月17日～2026年９月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年９月15日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	1,629,287	1,578,035	3,566,990
豪州ＲＥＩＴマザーファンド	742,380	740,534	1,738,627
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	1,298,810	1,192,966	3,527,126

○投資信託財産の構成

（2026年９月15日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド	3,566,990	38.3
豪州ＲＥＩＴマザーファンド	1,738,627	18.7
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド	3,527,126	37.8
コール・ローン等、その他	487,419	5.2
投資信託財産総額	9,320,162	100.0

（注）マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（3,531,744千円）の投資信託財産総額（3,622,154千円）に対する比率は97.5％です。

（注）豪州ＲＥＩＴマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（1,730,913千円）の投資信託財産総額（1,749,024千円）に対する比率は99.0％です。

（注）マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（3,509,937千円）の投資信託財産総額（3,527,144千円）に対する比率は99.5％です。

（注）期末における外貨建純資産（743千円）の投資信託財産総額（9,320,162千円）に対する比率は0.0％です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１アメリカドル＝154.69円	１ユーロ＝178.59円	１オーストラリアドル＝110.34円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年９月15日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,320,162,549
コール・ローン等	487,405,409
マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド(評価額)	3,566,990,818
豪州ＲＥＩＴマザーファンド(評価額)	1,738,627,267
マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	3,527,126,199
未収利息	12,856
(B) 負債	209,174,192
未払収益分配金	126,651,321
未払解約金	2,347,447
未払信託報酬	79,983,529
その他未払費用	191,895
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	9,110,988,357
元本	5,506,579,205
次期繰越損益金	3,604,409,152
(D) 受益権総口数	5,506,579,205口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	16,546円

＜注記事項＞

①期首元本額　5,649,469,130円
　期中追加設定元本額　54,303,746円
　期中一部解約元本額　197,193,671円
　また、１口当たり純資産額は、期末1.6546円です。

○損益の状況 (2026年３月17日～2026年９月15日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	1,333,686
受取利息	1,333,686
(B) 有価証券売買損益	164,615,998
売買益	227,023,745
売買損	△　62,407,747
(C) 信託報酬等	△　80,175,424
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	85,774,260
(E) 前期繰越損益金	3,322,216,720
(F) 追加信託差損益金	323,069,493
(配当等相当額)	(　245,508,497)
(売買損益相当額)	(　77,560,996)
(G) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ)	3,731,060,473
(H) 収益分配金	△　126,651,321
次期繰越損益金(Ｇ＋Ｈ)	3,604,409,152
追加信託差損益金	323,069,493
(配当等相当額)	(　245,714,957)
(売買損益相当額)	(　77,354,536)
分配準備積立金	3,321,868,514
繰越損益金	△　40,528,855

(注) (B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項　　目	2026年３月17日～ 2026年９月15日
費用控除後の配当等収益額	126,303,115円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	282,540,638円
分配準備積立金額	3,322,216,720円
当ファンドの分配対象収益額	3,731,060,473円
１万口当たり収益分配対象額	6,775円
１万口当たり分配金額	230円
収益分配金金額	126,651,321円

③「マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
「マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
「豪州ＲＥＩＴマザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の44以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	230円

・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

＊三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（https://www.am.mufg.jp/）をご覧ください。

［お知らせ］

①投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。
一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
（2026年４月１日）

②運用指図権限の委託先の変更に伴う、マザーファンドの名称変更およびマザーファンド名称変更にかかる記載整備のため、信託約款に所要の変更を行いました。
変更後（新）：豪州ＲＥＩＴマザーファンド
変更前（旧）：マッコーリー オーストラリアＲＥＩＴマザーファンド
（2026年６月16日）

マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド

《第13期》決算日2025年10月７日

［計算期間：2024年10月８日～2025年10月７日］

「マッコーリー オーストラリア・ハイインカム債券マザーファンド」は、10月７日に第13期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。 債券等への投資にあたっては、高水準のインカム収入を確保しつつ、マクロ要因分析、業種分析、個別企業の財務・業績分析等の信用リスク分析に基づき割安度を評価し、銘柄選定を行います。 デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。また、ファンドの流動性等を勘案して、一部、国債等に投資する場合があります。 オーストラリアドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的にオーストラリアドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。 債券等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	オーストラリアの企業が発行する普通社債、劣後債および優先証券等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。
Macquarie Bank Limited（以下「MBL」といいます）を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社は何れも1959年銀行法（オーストラリア連邦）上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率			
	円	%	%	%	百万円
９期(2021年10月７日)	14,445	11.2	92.1	△0.7	6,838
10期(2022年10月７日)	15,277	5.8	92.8	△9.2	3,555
11期(2023年10月10日)	16,499	8.0	95.1	△2.3	3,434
12期(2024年10月７日)	19,056	15.5	92.7	3.4	3,617
13期(2025年10月７日)	20,105	5.5	96.3	1.6	3,571

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率		
（期　首）	円	%	%	%
2024年10月７日	19,056	－	92.7	3.4
10月末	18,931	△0.7	92.6	3.5
11月末	18,543	△2.7	95.9	0.9
12月末	18,778	△1.5	97.3	－
2025年１月末	18,408	△3.4	96.6	0.3
２月末	18,025	△5.4	96.6	△1.0
３月末	18,207	△4.5	96.9	△2.8
４月末	17,789	△6.6	95.7	△0.7
５月末	18,200	△4.5	97.1	△4.6
６月末	18,798	△1.4	97.1	△1.3
７月末	19,244	1.0	95.8	0.6
８月末	19,342	1.5	96.6	△0.9
９月末	19,766	3.7	96.4	0.6
（期　末）				
2025年10月７日	20,105	5.5	96.3	1.6

（注）騰落率は期首比。
（注）「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ5.5%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

・豪州社債市況が上昇したこと等。

●投資環境について

◎債券市況

・豪州社債市況は上昇しました。

・債券市場では、期間を通じて見ると豪州金利は上昇しました。豪州金利が上昇したことはマイナスに影響したものの、豪州株式市況が堅調に推移する中、豪州社債市場でスプレッド（国債との利回り格差）が縮小したことなどがプラスに寄与し、豪州社債市況は上昇しました。

◎為替市況

・豪ドルは期間を通しては対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・豪州企業が発行する普通社債および劣後債等のハイブリッド証券を高位に組み入れる運用を行いました。
・豪ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に豪ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。
・また、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。
・デュレーションや債券種別配分については、投資環境や見通しに応じて適宜調整等を行いました。決算日直近の2025年９月末時点において、デュレーションについては、市場平均に対して長めの水準とし、債券種別配分については、相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を市場平均に対して多めの配分としました。

○今後の運用方針

・ファンダメンタルズは今のところ堅調ですが、関税引き上げの結果生じ得る企業業績の低成長や、可能性は低いもののインフレ率上昇などの影響を受ける可能性があります。運用チームは、豪州社債市況を取り巻く不確実なマクロ環境を注視しつつ、デュレーションを戦略的に構築し、ボラティリティに対しては慎重な見方を維持しながら銘柄選択を行っていく方針です。
・債券種別については、引き続き相対的に魅力度が高いと考えられるハイブリッド証券を市場平均に対して多めの配分とする方針です。ファンドのデュレーションについては、債券先物を適宜活用しつつ市場環境に応じて機動的に調整する方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2024年10月８日～2025年10月７日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	0	0.002	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.002)	
(b) その他費用	4	0.024	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.024)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	4	0.026	
期中の平均基準価額は、18,692円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2024年10月８日～2025年10月７日）

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券	千アメリカドル －	千アメリカドル － （ 251）
	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル －	千オーストラリアドル 496
		社債券	20,557	18,619 （ 500）

（注）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）
（注）（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注）社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種類別		買建		売建	
		新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国	債券先物取引	百万円 652	百万円 710	百万円 603	百万円 606

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年10月８日～2025年10月７日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	752	136	18.1	979	71	7.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱ＵＦＪ信託銀行、モルガン・スタンレーＭＵＦＧ証券です。

○組入資産の明細

(2025年10月７日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債　種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	%	%	%	%	%
オーストラリア	34,550	34,601	3,440,399	96.3	－	68.3	17.8	10.2
合計	－	－	3,440,399	96.3	－	68.3	17.8	10.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄			当期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア			%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	社債券	1.9 DWPF FINANCE 280804	1.9	700	650	64,694	2028/8/4
		2.1 LONSDALE FINA 271015	2.1	500	477	47,518	2027/10/15
		2.119 AGI FINANCE 270624	2.119	1,000	965	96,018	2027/6/24
		2.2 GTA FINANCE C 270826	2.2	500	478	47,549	2027/8/26
		2.4 VER FINCO PTY 280921	2.4	500	467	46,532	2028/9/21
		2.45 SHOPPING CT 290924	2.45	500	456	45,424	2029/9/24
		2.6 MIRVAC GROUP 290918	2.6	500	463	46,081	2029/9/18
		2.656 CHARTER HAL 291217	2.656	500	455	45,322	2029/12/17
		2.849 GPT WHL OFF 320220	2.849	500	436	43,401	2032/2/20
		2.9 AURIZON NETWO 300902	2.9	1,000	905	90,010	2030/9/2
		3 AURIZON FINANCE 280309	3.0	500	482	47,985	2028/3/9
		3.026 CIP FUNDING 271216	3.026	500	487	48,496	2027/12/16
		3.15 WESTCONNEX F 310331	3.15	600	545	54,266	2031/3/31
		3.25 TRANSURBAN Q 310805	3.25	500	452	44,974	2031/8/5
		3.7 DOWNER GROUP 260429	3.7	500	497	49,497	2026/4/29
		4.4 COMMONWEALT 270818	4.4	500	504	50,146	2027/8/18
		4.5 WSO FINANCE P 270331	4.5	700	703	69,976	2027/3/31
		4.75 QANTAS AIRWA 261012	4.75	500	502	49,977	2026/10/12
		5.15 MIRVAC GROUP 310318	5.15	500	504	50,166	2031/3/18
		5.35 SCENTRE GRO 350918	5.35	500	495	49,297	2035/9/18
		5.4 DYNO NOBEL LT 321108	5.4	500	503	50,040	2032/11/8
		5.5 SYDNEY AIRP 320423	5.5	500	514	51,193	2032/4/23
		5.5 TRANSURBAN QL 320902	5.5	500	509	50,684	2032/9/2
		5.6 QUBE TREASURY 311211	5.6	500	514	51,150	2031/12/11
		5.623 TRANSURBAN 340828	5.623	500	504	50,163	2034/8/28
		5.817 DYNO NOBEL 350808	5.817	500	507	50,431	2035/8/8
		5.868 WORLEY FIN 320513	5.868	500	515	51,234	2032/5/13
		5.9 QUBE TREASURY 341211	5.9	500	512	50,960	2034/12/11
		5.95 WORLEY FIN S 281013	5.95	1,000	1,029	102,344	2028/10/13
		6.171 AUST & NZ B 450814	6.171	500	513	51,089	2045/8/14
		6.2 AURIZON NETWO 331205	6.2	500	518	51,510	2033/12/5
		6.781 AUSTRALIAN 291108	6.781	500	522	51,999	2029/11/8
		FRN AMPOL LTD 541211	6.0825	500	512	50,956	2054/12/11
		FRN AUSNET SERV 550212	6.187	500	516	51,325	2055/2/12
		FRN AUST & NZ B 320812	5.906	500	513	51,012	2032/8/12
		FRN AUST & NZ B 330516	5.845	500	515	51,256	2033/5/16
		FRN AUST & NZ B 340116	5.888	500	518	51,512	2034/1/16
		FRN AUST & NZ B 350115	5.545	500	513	51,085	2035/1/15
		FRN AUST & NZ B 390725	6.124	500	521	51,845	2039/7/25
		FRN BENDIGO AND 301119	5.5307	500	500	49,774	2030/11/19
		FRN COMMONWEALT 320414	4.946	500	503	50,033	2032/4/14
		FRN COMMONWEALT 331025	6.446	1,000	1,050	104,497	2033/10/25
		FRN COMMONWEALT 350912	5.252	500	506	50,373	2035/9/12
		FRN MACQUARIE B 340301	5.953	500	517	51,419	2034/3/1

銘柄			当期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア			%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
	社債券	FRN MACQUARIE B 350220	5.4225	500	509	50,673	2035/2/20
		FRN MACQUARIE B 400529	6.1456	500	516	51,308	2040/5/29
		FRN NATIONAL A 311118	3.225	550	543	54,031	2031/11/18
		FRN NATIONAL A 320803	6.322	1,000	1,033	102,744	2032/8/3
		FRN NATIONAL A 340209	5.74	1,000	1,031	102,556	2034/2/9
		FRN NATIONAL A 400730	5.774	500	507	50,418	2040/7/30
		FRN QBE INSURANCE 350611	5.5325	500	508	50,598	2035/6/11
		FRN QBE INSURANCE 360521	5.802	500	510	50,777	2036/5/21
		FRN SCENTRE GRO 540910	5.8869	500	512	50,941	2054/9/10
		FRN SCENTRE GRO 550331	5.9	500	514	51,131	2055/3/31
		FRN SCENTRE GRO 550331	5.5764	500	507	50,476	2055/3/31
		FRN SUNCORP-MET 340627	5.9418	500	515	51,256	2034/6/27
		FRN WESTPAC BAN 330623	6.491	500	524	52,108	2033/6/23
		FRN WESTPAC BAN 340403	5.754	500	516	51,350	2034/4/3
		FRN WESTPAC BAN 340710	5.972	1,000	1,042	103,622	2034/7/10
		FRN WESTPAC BAN 350212	5.351	500	509	50,618	2035/2/12
		FRN WESTPAC BAN 400604	5.815	500	508	50,547	2040/6/4
合計						3,440,399	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄別			当期末	
			買建額	売建額
外国	債券先物取引	AUST10Y	百万円 56	百万円 —

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2025年10月7日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	3,440,399	96.3
コール・ローン等、その他	131,185	3.7
投資信託財産総額	3,571,584	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(3,542,800千円)の投資信託財産総額(3,571,584千円)に対する比率は99.2%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=150.47円	1ユーロ=176.10円	1オーストラリアドル=99.43円	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年10月７日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,571,584,793
コール・ローン等	87,777,548
公社債(評価額)	3,440,399,950
未収利息	32,760,860
前払費用	4,759,621
差入委託証拠金	5,886,814
(B) 負債	330,549
未払金	330,549
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	3,571,254,244
元本	1,776,300,726
次期繰越損益金	1,794,953,518
(D) 受益権総口数	1,776,300,726口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	20,105円

＜注記事項＞

①期首元本額　1,898,272,541円
　期中追加設定元本額　248,626,779円
　期中一部解約元本額　370,598,594円
　また、１口当たり純資産額は、期末2.0105円です。

○損益の状況 (2024年10月８日～2025年10月７日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	167,256,543
受取利息	167,256,543
(B) 有価証券売買損益	14,595,945
売買益	91,774,583
売買損	△ 77,178,638
(C) 先物取引等取引損益	△ 5,626,569
取引益	3,248,413
取引損	△ 8,874,982
(D) 保管費用等	△ 818,234
(E) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ)	175,407,685
(F) 前期繰越損益金	1,719,126,926
(G) 追加信託差損益金	206,543,221
(H) 解約差損益金	△ 306,124,314
(I) 計(Ｅ＋Ｆ＋Ｇ＋Ｈ)	1,794,953,518
次期繰越損益金(Ｉ)	1,794,953,518

(注) **(B)有価証券売買損益**および**(C)先物取引等取引損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) **(G)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) **(H)解約差損益金**とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
　オーストラリア好利回り３資産バランス（年２回決算型）　1,776,300,726円

［お 知 ら せ］

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2025年４月１日)

マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド

《第17期》決算日2026年９月15日

［計算期間：2026年３月17日～2026年９月15日］

「マッコーリー オーストラリア高配当株式マザーファンド」は、９月15日に第17期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの株式に投資を行います。 株式等への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の配当利回り、割安度、業績および経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。 株式等の運用にあたっては、マッコーリー・インベストメント・マネジメント・グローバル・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。 株式等の組入比率は高位を維持することを基本とします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

「マッコーリー」の商標は、マッコーリー・グループ・リミテッドからのライセンスに基づき利用しています。
Macquarie Bank Limited（以下「MBL」といいます）を除き、当資料に言及しているマッコーリー並びにマッコーリー関連会社は何れも1959年銀行法（オーストラリア連邦）上の預金受入機関として認可されておらず、これらの法人の負債にはMBLの預金その他の負債は含まれません。別段の記載がない限りMBLは上述の法人の何れに対しても、その負債に関する保証またはそれ以外の支援提供を行うものではありません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数）S＆P／ＡＳＸ 200指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
		期中騰落率	（配当込み、円換算ベース）	期中騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
13期(2024年９月17日)	20,230	3.0	20,519	4.2	95.5	－	3,412
14期(2025年３月17日)	20,555	1.6	19,863	△ 3.2	95.2	－	3,200
15期(2025年９月16日)	25,033	21.8	23,954	20.6	97.4	－	3,519
16期(2026年３月16日)	28,200	12.7	26,952	12.5	95.8	－	3,662
17期(2026年９月15日)	29,566	4.8	27,452	1.9	97.2	－	3,527

（注）基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
（注）Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200指数とは、Ｓ＆Ｐダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所上場の浮動株調整時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200指数（配当込み、円換算ベース）とは、Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200指数（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200 はS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJI」）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
（注）参考指数にはリートが含まれておりますが、実際の運用ではリートには投資していない点にご留意ください。
（注）外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
（注）「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）S&P／ASX 200指数（配当込み、円換算ベース）		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率		騰落率		
（期首）	円	%		%	%	%
2026年３月16日	28,200	－	26,952	－	95.8	－
３月末	27,424	△ 2.8	25,950	△3.7	97.1	－
４月末	29,324	4.0	27,764	3.0	97.5	－
５月末	29,799	5.7	27,530	2.1	97.9	－
６月末	29,808	5.7	27,671	2.7	97.1	－
７月末	30,410	7.8	28,486	5.7	98.8	－
８月末	31,230	10.7	29,429	9.2	98.2	－
（期末）						
2026年９月15日	29,566	4.8	27,452	1.9	97.2	－

（注）騰落率は期首比。
（注）「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

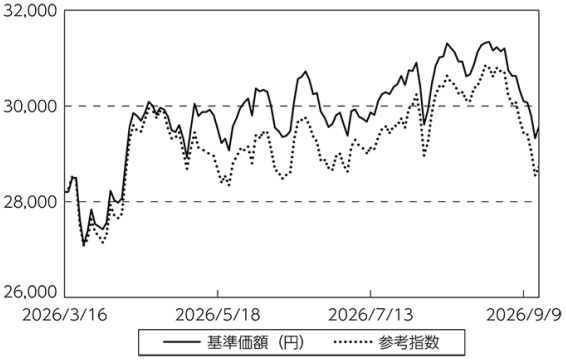
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.8%の上昇となりました。

基準価額等の推移



（注）参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

（上昇要因）

・保有銘柄のBHP GROUP LTDやSANTOS LTD等の株価が上昇したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

・オーストラリアの株式市況は上昇しました。
・原油価格上昇に伴うインフレ懸念等を背景にオーストラリアの金利が上昇したこと等がマイナス材料となり下落する局面もありましたが、中東情勢の緊張緩和への期待が高まった局面等で上昇し、期間を通じてみるとオーストラリアの株式市況は上昇しました。

◎為替市況

・豪ドルは、期間を通しては対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・銘柄選定にあたっては、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄の組み入れを行い、組入比率は高位を維持しました。

○今後の運用方針

・引き続き、健全な財務体質を有し、高い競争優位性や強固なキャッシュフローにより高い配当利回りが期待される銘柄を中心に組み入れていく方針です。

○１万口当たりの費用明細

（2026年３月17日～2026年９月15日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	5	0.017	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(5)	(0.017)	
(b) その他費用	3	0.009	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.009)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合計	8	0.026	
期中の平均基準価額は、29,851円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2026年３月17日～2026年９月15日）

株式

		買付 株数	買付 金額	売付 株数	売付 金額
		百株	千オーストラリアドル	百株	千オーストラリアドル
外国	オーストラリア	14,456	7,165	23,446	8,793
		(14)	(2)		

（注）金額は受渡代金。
（注）（ ）内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

（2026年３月17日～2026年９月15日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項　　目	当　　期
(a) 期中の株式売買金額	1,792,817千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,664,118千円
(c) 売買高比率 (a) ／ (b)	0.48

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2026年３月17日～2026年９月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年９月15日現在）

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（オーストラリア）	百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
BHP GROUP LTD	478	570	3,456	381,387	素材
CSL LTD	18	2	43	4,789	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	－	159	528	58,364	エネルギー
RIO TINTO LTD	48	58	977	107,884	素材
QBE INSURANCE GROUP LTD	723	635	1,458	160,936	保険
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	165	163	2,533	279,540	銀行
WESTPAC BANKING CORP	222	222	769	84,906	銀行
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	184	180	700	77,278	銀行
BRAMBLES LTD	122	123	230	25,394	商業・専門サービス
QANTAS AIRWAYS LTD	1,116	778	702	77,564	運輸
TABCORP HOLDINGS LTD	351	351	31	3,529	消費者サービス
ARISTOCRAT LEISURE LTD	99	60	364	40,253	消費者サービス
HARVEY NORMAN HOLDINGS LTD	1,033	1,063	439	48,471	一般消費財・サービス流通・小売り
ORICA LTD	162	176	387	42,762	素材
SANTOS LTD	919	1,516	1,323	146,078	エネルギー
SUNCORP GROUP LTD	654	200	397	43,856	保険
WESFARMERS LTD	37	37	273	30,211	一般消費財・サービス流通・小売り
BLUESCOPE STEEL LTD	－	225	675	74,562	素材
DOWNER EDI LTD	927	905	593	65,437	商業・専門サービス
AMPOL LTD	－	127	541	59,780	エネルギー
WORLEY LTD	306	－	－	－	資本財
SIMS LTD	－	54	133	14,692	素材
GRAINCORP LTD-A	542	－	－	－	食品・飲料・タバコ
AURIZON HOLDINGS LTD	－	218	81	9,006	運輸
REGIS RESOURCES LTD	923	900	696	76,897	素材
MYER HOLDINGS LTD	1,017	1,588	28	3,154	一般消費財・サービス流通・小売り
JB HI-FI LTD	81	48	314	34,687	一般消費財・サービス流通・小売り
IGO LTD	280	570	417	46,105	素材
MEDIBANK PRIVATE LTD	501	－	－	－	保険
SOUTH32 LTD	2,187	－	－	－	素材
MONADELPHOUS GROUP LTD	217	222	620	68,415	資本財
NRW HOLDINGS LTD	1,054	959	733	80,961	資本財
SELECT HARVESTS LTD	181	－	－	－	食品・飲料・タバコ
EVOLUTION MINING LTD	491	325	441	48,713	素材
FLEETPARTNERS GROUP LTD	286	286	132	14,622	金融サービス
HELIA GROUP LTD	671	708	383	42,343	金融サービス
PLS GROUP LTD	－	190	84	9,278	素材
SERVICE STREAM LTD	1,548	1,228	293	32,404	資本財
NORTHERN STAR RESOURCES LTD	212	132	299	33,015	素材
COLES GROUP LTD	494	498	1,168	128,971	生活必需品流通・小売り
AMCOR PLC-CDI	25	18	111	12,249	素材
IPH LTD	491	872	283	31,299	商業・専門サービス
GWA GROUP LTD	1,266	1,282	250	27,593	資本財
OOH!MEDIA LTD	3,013	－	－	－	メディア・娯楽
G8 EDUCATION LTD	7,358	－	－	－	消費者サービス
PERENTI LTD	1,779	2,070	455	50,260	素材

銘柄		期首(前期末)	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)		百株	百株	千オーストラリアドル	千円	
NICKEL INDUSTRIES LTD		4,943	5,844	464	51,272	素材
ADAIRS LTD		137	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
SMARTGROUP CORP LTD		429	293	325	35,957	商業・専門サービス
TELSTRA GROUP LTD		1,932	1,943	938	103,593	電気通信サービス
NINE ENTERTAINMENT CO HOLDIN		2,325	3,386	272	30,079	メディア・娯楽
PERSEUS MINING LTD		—	1,023	666	73,508	素材
ANZ GROUP HOLDINGS LTD		575	581	2,182	240,808	銀行
VIVA ENERGY GROUP LTD		—	294	90	9,996	エネルギー
VENTIA SERVICES GROUP PTY LT		1,047	1,072	615	67,898	資本財
NEWMONT CORP-CDI		23	—	—	—	素材
YANCOAL AUSTRALIA LTD		416	—	—	—	エネルギー
CHORUS LTD		926	—	—	—	電気通信サービス
WEST AFRICAN RESOURCES LTD		889	95	36	4,059	素材
CREDIT CORP GROUP LTD		214	217	299	33,075	金融サービス
MYSTATE LTD		82	729	354	39,061	銀行
REGAL PARTNERS LTD		439	1,163	272	30,046	金融サービス
UNIVERSAL STORE HOLDINGS LTD		39	85	60	6,640	一般消費財・サービス流通・小売り
BRAVURA SOLUTIONS LTD		907	907	276	30,455	ソフトウェア・サービス
CAPSTONE COPPER CORP-CDI		119	—	—	—	素材
GQG PARTNERS INC-CDI		1,723	1,601	178	19,697	金融サービス
STANMORE RESOURCES LTD		164	792	229	25,357	素材
EQT HOLDINGS LTD		92	92	198	21,914	金融サービス
KELSIAN GROUP LTD		—	166	66	7,374	運輸
RIDLEY CORP LTD		—	391	101	11,243	食品・飲料・タバコ
REDOX LTD/AUSTRALIA		—	231	79	8,751	資本財
合計	株数・金額	49,629	40,654	31,071	3,428,460	
	銘柄数<比率>	60	59	—	<97.2%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2026年９月15日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	3,428,460	97.2
コール・ローン等、その他	98,684	2.8
投資信託財産総額	3,527,144	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(3,509,937千円)の投資信託財産総額(3,527,144千円)に対する比率は99.5%です。
(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1オーストラリアドル=110.34円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年９月15日現在)

項　　目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,527,144,907
コール・ローン等	44,894,314
株式(評価額)	3,428,460,105
未収入金	1,015,887
未収配当金	52,774,147
未収利息	454
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	3,527,144,907
元本	1,192,966,989
次期繰越損益金	2,334,177,918
(D) 受益権総口数	1,192,966,989口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	29,566円

＜注記事項＞

①期首元本額　1,298,810,572円
　期中追加設定元本額　64,080,750円
　期中一部解約元本額　169,924,333円
　また、１口当たり純資産額は、期末2.9566円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
　オーストラリア好利回り３資産バランス（年２回決算型）　1,192,966,989円

○損益の状況 (2026年３月17日～2026年９月15日)

項　　目	当　　期
	円
(A) 配当等収益	83,292,470
受取配当金	78,085,203
受取利息	811,607
その他収益金	4,395,660
(B) 有価証券売買損益	103,239,572
売買益	339,811,211
売買損	△ 236,571,639
(C) 保管費用等	△ 325,798
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	186,206,244
(E) 前期繰越損益金	2,363,868,091
(F) 追加信託差損益金	125,669,250
(G) 解約差損益金	△ 341,565,667
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	2,334,177,918
次期繰越損益金(Ｈ)	2,334,177,918

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

［お知らせ］

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年４月１日)

豪州ＲＥＩＴマザーファンド

《第23期》決算日2026年９月15日

［計算期間：2026年３月17日～2026年９月15日］

「豪州ＲＥＩＴマザーファンド」は、９月15日に第23期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてオーストラリアの不動産投資信託証券に投資を行います。不動産投資信託証券への投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行います。不動産投資信託証券等の運用にあたっては、ノムラ・インベストメント・マネジメント・アドバイザーズに運用指図に関する権限を委託します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		（参考指数）S&P/ASX 200 A-REIT Index		投資信託証券組入比率	純資産総額
		期中騰落率	（配当込み、円換算ベース）	期中騰落率		
	円	%		%	%	百万円
19期(2024年９月17日)	21,715	10.3	21,557.01	10.5	98.9	1,942
20期(2025年３月17日)	19,814	△ 8.8	19,391.49	△10.0	99.1	1,598
21期(2025年９月16日)	25,557	29.0	24,294.78	25.3	99.4	1,819
22期(2026年３月16日)	23,995	△ 6.1	22,377.57	△ 7.9	98.2	1,781
23期(2026年９月15日)	23,478	△ 2.2	22,044.82	△ 1.5	99.2	1,738

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
(注) Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200 Ａ－ＲＥＩＴ Ｉｎｄｅｘとは、Ｓ＆Ｐダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している指数で、オーストラリア証券取引所の上場不動産投資信託の値動きを示す代表的な指数の１つです。Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200 Ａ－ＲＥＩＴ Ｉｎｄｅｘ（配当込み、円換算ベース）とは、Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200 Ａ－ＲＥＩＴ Ｉｎｄｅｘ（配当込み）をもとに、委託会社が計算したものです。
Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200 Ａ－ＲＥＩＴ ＩｎｄｅｘはS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJI」）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200 Ａ－ＲＥＩＴ Ｉｎｄｅｘの誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。
(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		（参考指数）S&P/ASX 200 A-REIT Index（配当込み、円換算ベース）		投資信託証券組入比率
		騰落率		騰落率	
（期首）	円	%		%	%
2026年３月16日	23,995	－	22,377.57	－	98.2
３月末	22,750	△ 5.2	21,310.16	△ 4.8	99.3
４月末	25,636	6.8	23,993.15	7.2	99.1
５月末	26,158	9.0	24,516.88	9.6	98.4
６月末	27,102	12.9	25,416.30	13.6	98.7
７月末	26,740	11.4	24,969.69	11.6	98.7
８月末	25,219	5.1	23,766.88	6.2	98.4
（期末）					
2026年９月15日	23,478	△ 2.2	22,044.82	△ 1.5	99.2

（注）騰落率は期首比。

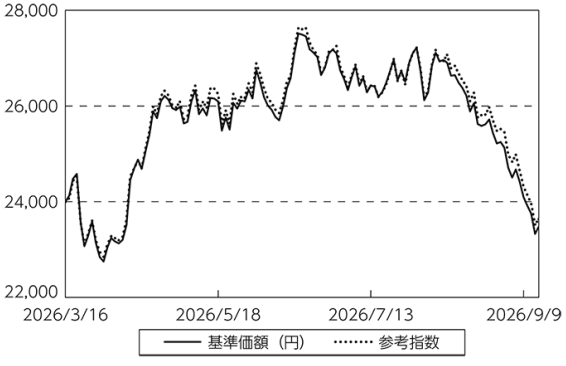
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ2.2%の下落となりました。

基準価額等の推移



（注）参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

（下落要因）

・豪ドルが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

・ファンドで保有する銘柄が下落したこと等が、基準価額の下落要因となりました。保有銘柄の中では、「STOCKLAND」（各種・分散投資型）や「ARENA REIT」（専門・その他投資型）等が下落しました。

●投資環境について

◎オーストラリアＲＥＩＴ市況

・オーストラリアのＲＥＩＴ市況は下落しました。期間の初めから2026年６月末にかけては、中東情勢への過度な警戒感が和らいだことや、オーストラリアの金利が低下したこと等がプラス材料となり、上昇しました。その後は、中東情勢の緊張緩和への期待が高まったこと等がプラス材料となり上昇する局面もありましたが、米国・イラン間の軍事的緊張の高まりを背景に原油価格が上昇し、インフレ懸念が再燃したこと等を背景に先進国の金利が上昇する中、オーストラリアの金利が上昇したこと等がマイナス材料となり、下落しました。結果、期間を通じてみると

オーストラリアのＲＥＩＴ市況は下落しました。

◎為替市況
・豪ドルは、期間を通しては対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて
・ＲＥＩＴへの投資にあたっては、人口動態分析、マクロ経済分析等のトップダウン・アプローチと、個別銘柄の割安度や保有資産・業績の分析および資本構造や経営の質等の分析によるボトムアップ・アプローチを併用し、銘柄選定を行いました。

○今後の運用方針
・不動産価値の向上が期待される優良な物件を重視した運用を行い、中長期的な信託財産の成長と配当収益の確保をめざします。

○１万口当たりの費用明細

（2026年３月17日～2026年９月15日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 売買委託手数料	16	0.063	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（投資信託証券）	(16)	(0.063)	
(b) その他費用	10	0.041	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（その他）	(9)	(0.035)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	26	0.104	
期中の平均基準価額は、25,726円です。			

（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2026年３月17日～2026年９月15日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
	オーストラリア	千口	千オーストラリアドル	千口	千オーストラリアドル
外国	VICINITY CENTRES	73 (13)	184 (33)	222	568
	ASPEN GROUP	37	185	47	240
	INGENIA COMMUNITIES GROUP	18	73	16	67
	CHARTER HALL GROUP	16	328	10	220
	REGION GROUP	85	191	245	584
	SCENTRE GROUP	258	937	83	313
	ARENA REIT	83 (4)	234 (13)	22	70
	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	42	126	113	337
	CENTURIA CAPITAL GROUP	18	25	1	2
	HOMECO DAILY NEEDS REIT	435	523	－	－
	STORAGE KING GROUP	59	78	136	157
	DIGICO INFRASTRUCTURE REIT	49	123	12	27
	BWP PROPERTY GROUP LTD	53	197	136	514
	CENTURIA CAPITAL GROUP	46	92	－	－
	GPT GROUP	111	521	51	247
	MIRVAC GROUP	34	62	52	92
	STOCKLAND	75	335	123	506
	GOODMAN GROUP	46	1,305	46	1,361
	小計	1,546 (18)	5,526 (46)	1,321	5,313

（注）金額は受渡代金。
（注）（ ）内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2026年３月17日～2026年９月15日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年９月15日現在）

外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)	当期末			
		口数	口数	評価額		比率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
（オーストラリア）		千口	千口	千オーストラリアドル	千円	%
VICINITY CENTRES		566	432	1,032	113,977	6.6
ASPEN GROUP		137	127	602	66,479	3.8
INGENIA COMMUNITIES GROUP		102	104	420	46,367	2.7
CHARTER HALL GROUP		61	67	1,250	137,968	7.9
REGION GROUP		160	－	－	－	－
SCENTRE GROUP		507	682	2,381	262,731	15.1
ARENA REIT		120	185	407	44,942	2.6
CENTURIA INDUSTRIAL REIT		203	132	378	41,785	2.4
CENTURIA CAPITAL GROUP		－	62	79	8,820	0.5
HOMECO DAILY NEEDS REIT		－	435	476	52,600	3.0
STORAGE KING GROUP		77	－	－	－	－
DIGICO INFRASTRUCTURE REIT		65	102	263	29,120	1.7
BWP PROPERTY GROUP LTD		82	－	－	－	－
GPT GROUP		278	339	1,529	168,750	9.7
MIRVAC GROUP		240	222	399	44,131	2.5
STOCKLAND		333	285	1,201	132,537	7.6
GOODMAN GROUP		197	197	5,205	574,337	33.0
合計	口数・金額	3,136	3,379	15,629	1,724,551	
	銘柄数＜比率＞	15	14	－	＜99.2%＞	

（注）邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注）比率および合計欄の＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。

純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資信託証券の内容

●GOODMAN GROUP（期末組入比率33.0%）

① 信託の概要

グッドマンは、商業用および産業用不動産の所有、開発、運営を行うリートで、グローバルに倉庫、大規模物流施設やオフィスなどを展開しています。Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200 Ａ－ＲＥＩＴ Ｉｎｄｅｘにおいて約38.50%を占めます。

② １口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、１口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス https://www.goodman.com/

●SCENTRE GROUP（期末組入比率15.1%）

① 信託の概要

センター・グループは、豪州とニュージーランドでショッピングセンターの保有、運営を行っています。Ｓ＆Ｐ／ＡＳＸ 200 Ａ－ＲＥＩＴ Ｉｎｄｅｘにおいて約13.05%を占めます。

② １口当たりの資産運用報酬額等

投資信託の資産運用報酬額等に相当する詳細な開示がないため、１口当たりの資産運用報酬額等に関する開示は出来ません。

ホームページアドレス https://www.scentregroup.com/

○投資信託財産の構成

（2026年９月15日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	1,724,551	98.6
コール・ローン等、その他	24,473	1.4
投資信託財産総額	1,749,024	100.0

（注）期末における外貨建純資産（1,730,913千円）の投資信託財産総額（1,749,024千円）に対する比率は99.0％です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

１オーストラリアドル＝110.34円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2026年９月15日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	1,749,024,374
コール・ローン等	17,190,200
投資証券(評価額)	1,724,551,353
未収配当金	7,282,618
未収利息	203
(B) 負債	10,418,888
未払金	10,418,888
(C) 純資産総額(Ａ－Ｂ)	1,738,605,486
元本	740,534,657
次期繰越損益金	998,070,829
(D) 受益権総口数	740,534,657口
１万口当たり基準価額(Ｃ／Ｄ)	23,478円

＜注記事項＞

①期首元本額　742,380,645円
　期中追加設定元本額　93,033,378円
　期中一部解約元本額　94,879,366円
　また、１口当たり純資産額は、期末2.3478円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
　オーストラリア好利回り３資産バランス（年２回決算型）　740,534,657円

○損益の状況

（2026年３月17日～2026年９月15日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	26,764,133
受取配当金	26,516,896
受取利息	247,237
(B) 有価証券売買損益	△ 53,582,362
売買益	48,941,205
売買損	△ 102,523,567
(C) 保管費用等	△ 754,548
(D) 当期損益金(Ａ＋Ｂ＋Ｃ)	△ 27,572,777
(E) 前期繰越損益金	1,038,987,618
(F) 追加信託差損益金	139,536,622
(G) 解約差損益金	△ 152,880,634
(H) 計(Ｄ＋Ｅ＋Ｆ＋Ｇ)	998,070,829
次期繰越損益金(Ｈ)	998,070,829

（注）(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

［お知らせ］

①投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。
一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年４月１日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。
（2026年４月１日）

②運用指図権限の委託先の変更に伴う、マザーファンドの名称変更およびマザーファンド名称変更にかかる記載整備のため、信託約款に所要の変更を行いました。
変更後（新）：豪州ＲＥＩＴマザーファンド
変更前（旧）：マッコーリー オーストラリアＲＥＩＴマザーファンド
（2026年６月16日）